

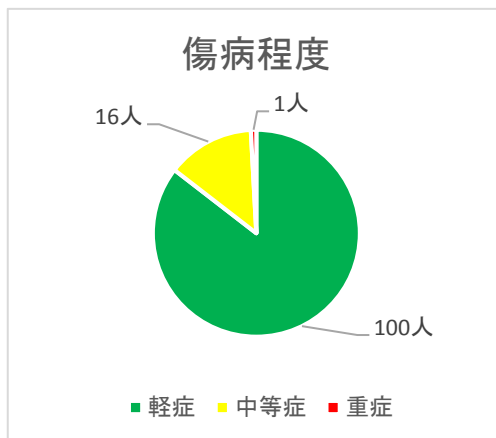
# 熱中症発生状況 統計データ ～年齢区分別詳細分析～

統計対象期間 **平成26年～平成30年(5年)**  
**6月～9月(4ヶ月)**

**乳幼児・少年** 117件

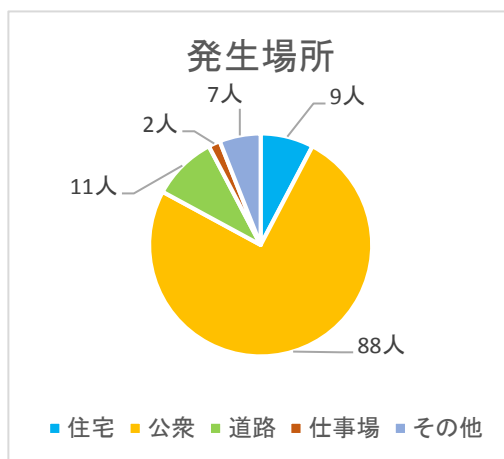
## 傷病程度

	件数	割合
軽症	100	85.5%
中等症	16	13.7%
重症	1	0.9%



## 発生場所

	件数	割合
住宅	9	7.7%
公衆	88	75.2%
道路	11	9.4%
仕事場	2	1.7%
その他	7	6.0%



## その他

\*発生場所のトップは「公衆」であり、88件でした。

## 乳児・少年について

乳児・少年については熱中症が発生したとしても約9割は軽症であり、発生場所のほとんどは自宅以外で発生しております。自宅以外の場所では、学校での発生が多く発生時間も乳幼児、少年の活動している時間帯である日中が90%以上を占めております。また、**学校で発生したものの90%は軽症との判断であり、若年層では重症化はしづらい傾向にあるといえます。**このことから、**早期に適切な応急手当を施せば、病院へ受診せずとも症状が軽快することが予想されるため、熱中症にならない対策（こまめな水分補給等）や応急手当（冷却・水分補給）について保護者や関係者の方はよく知っておきましょう。**





